



私たちは環境と福祉を考え、健全なモーター・ライフを応援しています。

Market Column

**用品マーケットから
時代の流れが見えてくる**

クルマの「アフターマーケット」で重視されるのは、車検整備、定期点検、消耗品の交換など。いわゆるサービス部門です。

一方、クルマに個性をもたせる用品も、徐々に市場を形成。いまやアフターマーケットの規模が大きいくだけに、注目を集めています。とりわけ地方都市や郡部での需要は、大きなものがあります。



その歴史をたどれば、1960年代からカーヒーター、クーラー、オートラジオが市販されるようになりました。呼び名だけ聞いても時代を感じますね。

やがてこれらはディーラーオプションとなり、メーカー

によるライン装着へと発展します。

80年代になると、クルマターゲット層が多様化し、用品もそれぞれの車種にあわせて専門化します。バブル期には高級絨毯風のフロアマットが人気でした。

90年代にはRVブームが起こって、用品もアウトドア調のものが急増。2000年以降はカーナビゲーションの市場が急速に拡大しています。

コンパクトカーや軽自動車の高品質化で、いまやエアコンもライン装着が一般化してきました。

今後注目されるのは、**情報通信**を目的としたもの。これに加えて、やはり**女性ユーザー**を対象とした商品も市場を拡大してくるでしょう。

といっても、小手先だけの商品づくりでは、目の肥えた女性層にアピールできそうもありません。かつてカラーリングだけを変えた軽自動車を女性向けとしていたような時代はすでに過ぎて、**シンプルかつ質感豊かな**小型車や軽自動車の人気となっている時代です。

用品開発にも、**どんどん女性ユーザーの感覚**を持ちこまなければ、ビジネスチャンスは失いかねません。

6月の自動車月間販売台数

前年同月比プラス 同マイナス

新車	総合計	登録車合計			軽自動車合計
		普通乗用車	小型乗用車	軽自動車	
販売台数(台)	517,417	351,061	116,810	187,898	166,356
前年同月比(%)	7.4	8.6	1.4	13.7	5.1
中古車	総合計	登録車合計			軽自動車合計
		普通乗用車	小型乗用車	軽自動車	
登録台数(台)	453,063	172,524	208,675	22,146	34,469
前年同月比(%)	5.6	9.6	3.4	10.5	8.3
輸入車(新車)	総合計	登録車合計			軽自動車合計
		外国メーカー	逆輸入	出展	
販売台数(台)	28,455	26,855	1,600	出展	0
前年同月比(%)	0.4	4.3	38.3	出展	0

6月の新車販売台数(登録車)は前年同月比 8.6%増となり、3カ月連続でプラスとなっています。普通小型乗用車は13.7%増の18万3898台でとくに好調。軽自動車も同 5.1%増となり4カ月連続のプラス。

中古車販売台数は同 5.6%増となり、2カ月連続の増加。依然、新車販売が好調のため、下取り車両の業者間販売も増えていることが大きな要因となっているようです。

新車 中古車は日本自動車販売協会連合会
輸入車は日本自動車輸入組合

燃料電池車で世界初の「型式認証」 トヨタとホンダの2車種 / 国交省

国土交通省が、トヨタとホンダの2車種に燃料電池車で世界初の「型式認証」を行ないました。これまでは、車両1台ごとに試験走行を目的とした国交相認定の取得が必要でした。しかし、燃料電池車用圧縮水素ガスの安全・環境にかかわる基準を整備するため、道路運送車両の保安基準を改正。燃料電池車も販売を目的とした型式認証の取得が可能になったものです。

認証を受けたのは、燃料電池ハイブリッド乗用車「トヨタ FCHV」と、ホンダの燃料電池車「FCX」。これにより、燃料電池車の普及に向けて、大きく一歩前進したことになります。

米国の2005年上半期新車販売 日本車シェアが最高の31.5%

2005年上半期の米国新車市場で、日本車が前年同期比5.7%増(季節調整前)の269万台を販売し、上半期ベースで過去最高のシェア31.5%となっています。トヨタとニッサンは上半期で同12.1%増の166万台を販売。両社のシェアはそれぞれ同1.1ポイント、同0.7ポイントと大幅に上昇。日本車シェア拡大に大きく貢献しています。

一方、ビッグスリーは同0.6%増(同)の499万5000台と微増、シェアも同0.6ポイント下落の58.3%となっています。

自動車保険のネット・電話販売が拡大

インターネットや電話による自動車保険の販売が拡大しています。現在、自動車保険全体に占めるネット・電話販売の比率は2004年度で3.4%、と前年度比0.6%増。なかでもソニー損害保険をはじめとする専業6社(ほかにチューリッヒ保険、アメリカンホーム保険、三井ダイレクト損害保険、アクサ損害保険、そんぽ24損害保険)の保険料収入は同4年度1191億円で同14%増となっています。

売上自体は7年連続で増加、低価格が消費者の支持を得ているようです。



BP大阪ノスタルジックカーショー

会場: インテックス大阪 会期: 7月24日

オートギャラリー東京

会場: 東京ビッグサイト 会期: 8月5日 - 7日

新車・特別仕様車 (6.20 - 7.19)

BMW、5シリーズに軽量新型6気筒エンジン搭載や「530i ツーリング」を追加し6月21日発売
アウディジャパン、エステートワゴン「アウディA6アバント」をフルモデルチェンジし6月21日発売
V.G.、夏の特別仕様車「ポロ SE」を6月21日発売
マツダ、グリーン税制適合セダン「マツダスピードアテンザ」先行予約開始。8月下旬発売予定
マツダ、「アテンザ」をマイナーチェンジし6月23日発売

(下の写真は本文と無関係です)

富士重工、フォレスター「CROSS SPORTS」を6月24日発売



ダイムラー日本、「スマートBRABU

S」を6月28日70台限定発売

ホンダ、オデッセイMタイプの特別仕様車「HDDナビエディション」を6月30日発売

ルノー・ジャポン、特別装備採用の「ルノー メガーヌスポーツウェイ」を100台限定で6月30日発売
ダイハツ、軽乗用車「タント」に「タントカスタム」シリーズを設定し6月30日発売

フォード・ジャパン、SUV特別仕様車「AQUAFEEL」2車種を100台限定で7月1日発売

ダイムラー日本、特別仕様車「クライスラー・PTクルーザー カプリオ ツーリング」を7月2日発売

V.G.、12気筒エンジン搭載のSUV「トゥアレグ W12スポーツ」を100台限定で7月12日発売

ジャガー & ランドローバー・ジャパン、最高級プレミアム4x4「Newレンジローバー」を7月23日発売

三井物産オートモーティブ、米GM社製のSUV「HUMMER H3」を今秋発売

マツダ、軽自動車「マツダキャロル」の特別仕様車「G Special」を7月7日より発売

富士重工、軽自動車「スバルR1」から

「i(アイ)」を追加設定し7月12日より発売

自動車登録 Q&A

「新古車」って良く聞きますが、
どういうことなんですか？

A. 新車でありながら、中古車

“登録”をした時点で、クルマは安くなる。

中古車の最大の魅力は、やっぱり価格。新車では高すぎて購入をためらったモデルが、リーズナブルな価格になって購入候補に入ってくるわけです。長期の納車待ちなんてこともありません。

もちろん新車に比べて中古車の価格が安いのは当たり前です。でも、日本の場合、新車登録をすませた瞬間に10～20%も値落ちするという、独得の中古車相場メカニズムがあるのもたしかです。

未使用のまま、登録をすませ、自動車そのものは何も変わっていないのに、値段が安くなる。考えてみれば、なんだか妙な感じですが、これがいわゆる「新古車」といわれるものですね。

試乗などで使用したクルマとは違って、こちらは一般的には特選中古車などとして、販売されたりします。

私たち「アーリア行政書士法人」は、自動車登録の専門家です。登録に関することは、すべておまかせください。

Trend Information

からだを守る微生物

プロバイオティクス

見た目の健康以上に、からだのなかをいかに強く美しく保つかに関心が集まっています。

プロバイオティクスは、腸内バランスを改善し、抵抗力や免疫力を維持・増強するような微生物をさします。「細菌と共生する物質」という意味で、アンチバイオティクスに対する言葉です。

近年、「治療医学」から「予防医学」へと医療姿勢が移行するなか、注目されるようになりました。予防的にプロバイオティクス乳酸菌の入った食品を食べることなどで、免疫力増強が可能とされます。

事業の立ち上げをサポート

「なにかを始めたい！」とお考えのあなたを応援！
NPO活動や運送事業、建設業、風俗業などを中心に、私たちは事業の立ち上げのご相談を承っています。まずは、お気軽に担当までご連絡下さい。

アーリア行政書士法人

担当：小井（コイ） 電話 078-453-3335

e-mail info@morimotozimu.co.jp

信頼できるスタッフを派遣

神戸発の人材派遣会社セツテソーニは、自動車ディーラーを中心にスタッフの派遣を行っています。お気軽にご相談ください。スタッフ応募も受付中！

セツテソーニ株式会社

神戸市中央区京町79番地 日本ビルヂング3階 301号

Tel 078-331-7100 Fax 078-331-7102

<http://www.settesogni.co.jp/>

編集後記

6月の新車販売ランキング

6月の車種別販売ランキングをみると、まずホンダのステップワゴンの健闘が目に入ります。日産のセレナとの対決、第1ラウンドはステップワゴンの優勢。でも、トップ10をみると日産が最高位6位ながら、4台も入っていますね。



(写真:ステップワゴン)

トヨタは新車効果が続いていたヴィッツが、ちょっと息切れ気味といったところでしょうか。ミニバン系では、ホンダ、日産のライバル車登場にもかかわらず、ノアやヴォクシーがそれぞれ前年同期比20%台、30%台の伸びを示しているあたりも、目が離せません。



(写真:セレナ)

ホンダのフィットは4位に落ちたとはいえ、前年同期比23%増という販売実績です。(FS)

発行/アーリア行政書士法人

〒658-0024 神戸市東灘区魚崎浜町33

兵庫陸運支局西隣 (兵庫県自動車会館2階)

Tel.078-453-3322 Fax.078-453-3046

HP. <http://106951.com>